



発達認知科学ラボ
Developmental Cognitive Science lab

動画像の物体検出、
できるようになりますか？

YOLO

RetinaFace

物体検出モデル

MediaPipe

チュートリアル



講師
服部 韶暉 先生
(大阪大学 基礎工学部)



6/19 木 & 6/26 木

10:30 – 12:00 #参加無料

対面: 大阪大学 人間科学研究科 41講義室
(吹田キャンパス)



6/19 (木)

6/26 (木)

① YOLOとは？

② 学習データの作成・学習方法の紹介

③ 推論デモ・結果の見方

④ MediaPipe, RetinaFaceとは？

⑤ 推論デモ

⑥ 複数のモデルを組み合わせる工夫

※講義内容は変更になる可能性があります。



本セミナーでは、YOLOやMediaPipe、RetinaFaceといった物体検出モデルを用いて、実験映像から注目物体や実験参加者を検出する方法について紹介します。学習に必要なデータの作成方法から検出結果の見方まで、実装を交えた説明を行います。このセミナーを受講していただくことで、「複数候補がある注目物体の内、参加者が持っている物体だけを検出する」といった少し複雑な処理まで可能になります。ぜひご参加ください！



お問い合わせ 萩原広道（大阪大学 大学院人間科学研究科）hiromichi.h.us@osaka-u.ac.jp

主 催 大阪大学 大学院人間科学研究科 発達認知科学研究分野

共 催 発達と教育のためのプレイフル・ラボ・
未来共創センター・IMPACTオープンプロジェクト



発達と教育のための
プレイフル・ラボ